

# 図書館報

聖隷クリスティー大学

第12号 2014. 4

📖 大学・研究機関の図書館と私、そして本学‘新’図書館について思う（石井敏弘）	1
📖 お宝を探しに図書館へ行こう（西田裕介）	2
📖 「もっと知りたい」を刺激するラーニングコモンズのグループ学習室（石川瞭子）	3
📖 この一冊	4
📖 新図書館の設備	6



## 大学・研究機関の図書館と私、 そして本学‘新’図書館について思う

看護学部看護学科 教授 石井 敏弘

大学・研究機関の図書館に関わる私の思い出、そして本学の図書館について思うことを記させていただきます。

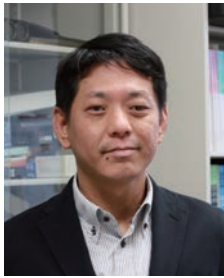
大学生として在籍したのは医学部でした。いわゆる‘教科書’としていくつかの医学書が教員から紹介されましたが、購入を課された書籍（本学シラバスの「指定図書」に相当）は多くありませんでした。それでも‘書籍が学習資料の基本’と認識していましたので、1教科2冊～4冊くらいの医学書を購入しました。医学書は高価ですから、実物をみて購入を判断するのに図書館は大いに役立ちました。図書館の閲覧室では、先生方が医学雑誌を読み耽ってらっしゃる場面がみられました。‘教員と同じ空間で医学の雑誌や書籍を読む’のは大学図書館（設置の法的根拠が異なり、小学校～高校の図書館と一線を画する）を意識する機会であり、また学生の私にはハッピーでした。ただ職員（国家公務員）の対応が不良でしたので、カウンターでは気持ち良く利用できませんでした。

前勤務先は国立保健医療科学院（旧 国立公衆衛生院）でした。厚生労働省の試験研究機関であり、保健医療専門職の現任教育を業務とする施設ですので、所蔵資料が豊富でした。また図書館職員が親切でしたので、とても利

用し易い図書館でした。‘豊富な所蔵資料’と‘職員の親切的な対応’は大学・研究機関の図書館にとって二大価値だと思います（‘充実した情報システム’も重要な価値ですが、大学・研究機関では図書館間の較差が比較的少ないと認識しています）。

本学では2013年2月、新築の5号館に図書館が移転しました。リニューアルされた図書館には、声を発して協同的に学習できる「ラーニングコモンズ」「グループ学習室」が新設されました。大学図書館という‘静かな空間’を経験してきた私には‘時代は変わっているんだなあ’の感でした。会話のできる区画が設けられて以降、閲覧室で騒音が減じたように感じます。

学生が図書館を利用し易くする工夫は他大学でも進められており、飲食可の部屋（本学では、蓋のある容器であればラーニングコモンズとグループ学習室で飲み物を摂れます）やプレゼンテーション用の部屋が設けられ、また学習にパソコンなどの電子機器が使用できるようになっています。‘学生が情報リテラシーを向上できる施設’として本学図書館が進化し続けることを願っています。



## お宝を探しに図書館へ行こう

リハビリテーション学部理学療法学科 教授 西田 裕介

理学療法の臨床場面では次のAさんのような症例に多く遭遇します。

「重症の脳卒中片麻痺患者が回復期病棟に転院してきた。理学療法では病棟と連携しながら離床を行った。2週

間後、基本動作や移乗などの介助量が激減した。しかし、麻痺の程度や個別の筋力などは変化していない。積極的な離床が良かったのだろうと思うが、本当に理学療法の効果であるかはわからない。」

<以下、対話形式にて記載> ※PT (Physical Therapist):理学療法士の略

新人PT :Aさん、だいぶ良くなりましたね。介助も楽になりました。  
中堅PT :まだ2週間だけど、一生懸命「離床」をした甲斐があったね。  
ベテランPT :ほんとだ。良くなったね。何で良くなったの？  
中堅PT :離床したことで、「身体活動量」が増えて「運動耐容能」が改善したからです。  
ベテランPT :ごもつとも。じゃあ、何で身体活動量が増えたら運動耐容能が良くなったの？  
新人PT :…そんなことを考えていませんでした。何でだろう。  
ベテランPT :何か、評価指標に変化はあったの？  
中堅PT :筋力も変化がないですし、筋緊張も変わらないです。…うーん…何でだろう。  
ベテランPT :理学療法評価に変化がないのなら、理学療法による効果とは言えないよ。  
新人PT :ということは、理学療法による効果ではなかったのでしょうか。  
ベテランPT :そう言わざるを得ないよね。  
中堅PT :(そんなはずは…。)身体活動量を増やす介入には効果があると思うのですが…。  
新人PT :そうですよね。すみません。  
ベテランPT :でも、理学療法評価では何も変わってないよね。根拠がないよ。  
中堅PT :うーん……。私が行った評価では効果判定ができなかったのだと思います。  
ベテランPT :「効果があると思う」という推測や「効果判定のできない指標」での曖昧な評価では、根拠のある治療はできないよね。これでは「根拠のない理学療法」になってしまうよ。  
中堅PT :…そうですよね…。身体活動量と運動耐容能を「仲介するもの」が評価できれば、理学療法の効果と言えそうです。  
新人PT :そうか。「仲介するもの」を評価する指標があればいいのに。  
ベテランPT :あるよ！  
新人PT :えっ。あるのですか？是非、教えてください！  
ベテランPT :そう簡単には教えられないね。まず、Aさんの場合、「離床」によって何が起こったかを考えるのが先だね。

※以下、詳細内容については参考文献を参照。

図書館には、この内容を理解するためのお宝が山ほどあります。さあ、お宝を探しに図書館へ行こう!!

参考文献

・西田裕介, 臼井晴信, 和久田未来:自律神経系の測定法. 理学療法29 (10): 1169-1177, 2012.



## 「もっと知りたい」を刺激する ラーニングコモンズのグループ学習室

社会福祉学部社会福祉学科 教授 石川 瞭子

「とても面白かった」「まだ調べ足りない」「もっと知りたい」と学生はリアクションペーパーに書いてくる。2013年11月26日の総合演習で「貧困」というテーマでグループ学習をしたときの感想である。5台のパソコンと9台のスマートフォンからネット検索、新聞記事検索の「聞蔵」から関連する社会事件一覧を提示して授業は開始された。

数年前、大学FDの講習会でラーニングコモンズを知った。設備と対応する職員、それを後押しする大学側の理解の重要性を感じた。本学に着任し3年。5号館に図書館が移転しラーニングコモンズ及びITを用いたグループ学習空間ができた。教育環境が日々向上していくのを教員として味わうのは幸運なことだ。さらにPBL等のアクティブラーニングを可能とするゼミ生(9人)との出会いにも感謝している。

授業は児童・家庭福祉領域の大学院生が補助として交代で参加する。取りあげるテーマは大学院生とゼミ生との対話で決まるが、大概是大学院生がトレンドな社会問題を持ち込む。ゼミ生の社会的関心ごとが広まり、学ぶ方法を取得すれば成功だ。大学院生は学ぶ方法を学習するだけでなく、教授方法を体得する機会にもなる。

本日の内容は①子どもの貧困、②障がい者・高齢者の

貧困、③女性の貧困、④在日出稼ぎ労働者の貧困、⑤現在の貧困という5つのテーマ。一斉にネット検索をかけた。一方で「聞蔵」(朝日新聞記事検索)で社会的事件の一覧をプリントアウトし、テーマと事件との関連を検討するように促す。40分の必死の検索。どの学生も真剣そのもの。

その後に調べたことを各自口頭で報告する。①総体的貧困15.7%、OECD35ヶ国中9番目に多い子どもの貧困、若年妊娠と出産の問題。②障がい者の生活保護率は健康者の5倍、高齢者の自殺や万引き等の増加の背景に。③単身女性の3人に1人が貧困、非正規雇用、母子世帯の約半分がワーキングプア。④出稼ぎのプル要因、プッシュ要因。過酷な労働条件のなかで家族に仕送り、健康被害や低賃金から犯罪も。⑤現代の貧困とは経済の貧困と関係の貧困が混在。NEETだけでなく200万人に迫るSNEP(中卒・高校中退・孤立無業者)。自殺、孤独死や無縁死は今後も増加する可能性あり。

次は「世界の貧困」。その次は「人種」「宗教」? 参加学生の「もっと知りたい」を刺激する授業展開にラーニングコモンズやグループ学習室はうってつけ。ちなみにゼミ生が事後学習や事前学習で図書館を利用するようになったのは想定外だ。今後も展開したいと考えている。



# この一冊



本学教員・大学院生からのお勧めの一冊

(順不同)

## 孔子著 齋藤孝訳 『現代語訳論語』 筑摩書房

「論語」は、孔子が言ったこと、行ったことを記録し、その弟子たちの言葉も収められています。中学高校の時に、誰もが漢文の授業で難しいと思いながら、学んだと思います。この本は齋藤孝氏によって、孔子の言いたい事を分りやすく訳してあります。自分自身で学び、弟子たちとも議論する孔子の学びに対する思いが伝わるとともに、現代人にも必要なことを感じさせられる一冊です。

(リハビリテーション学部理学療法学科 准教授 有菌 信一)



## ジェレミー・ドノバン著 中西真雄美訳 『TEDトーク:世界最高のプレゼン術』 新潮社

大学生ともなるとプレゼンテーションの機会は多くなる。また就活や働いてからは上司や他職種への説明は必須となる。本書はTEDビデオに出演するプレゼンターの語られる内容や口調などを分析し、より魅力的に人に伝えるためのノウハウを紹介している。ポイントとしてスピーチの構造には①現状-問題提起-解決策②時系列③アイデア・コンセプト提起型の3つがあり、どれを選ぶかと書かれています。貴方はどのタイプを選んで聴衆から共感と賛同を得ますか？

(リハビリテーション学部作業療法学科 助教 建木 健)



## 池井戸潤著 『下町ロケット』 小学館

「倍返し」で有名になった池井戸潤氏の直木賞受賞作。下町の中小企業で開発されるものづくりを巡る物語です。それに携わる大人たちの挫折とこだわりと喜びが描かれています。夢やプライドを持つことが【カッコいい】と思わせてくれる一冊です。

(看護学部看護学科 助教 榎原 理恵)







Shel Silverstein “The Missing Piece” HarperCollins Publishers  
(倉橋由美子訳 『ぼくを探しに』 講談社)

20代後半、だったと思います。安定・安穩を求めてたどり着いたはずの場で、迷いが生じました。遅ればせながらのアイデンティティ・クライシス…？

「何かが足りない自分」に苛立ち、「なりたい自分になるために必要な何か」を求めてやまなかったころ、この物語で落ち着いたことを覚えています。(あわせて“The Missing Piece Meets the Big O”もお勧めします。)



(社会福祉学部社会福祉学科 准教授 佐藤 順子)



D・カーネギー著 香山晶訳 『道は開ける』 創元社

悩みは自己を成長させますが、その渦中とはとてもつらく、長くて抜け出せないような感覚に陥ります。憂いを抱えた浪人時代、私が手に取り感銘を受けた本は「道は開ける」(D・カーネギー著、創元社)でした。今でも時々読んでいます。



(看護学部看護学科 教授 篁 宗一)



大平光代著 『だから、あなたも生きぬいて』 講談社

人にはそれぞれの生き方があります。困難な状況が訪れた時に「自分」をどのように見つめ、乗り越え、新たなスタートを切り開いていくか…。そんな時に出会い、今があるのかもしれません。



(社会福祉学部こども教育福祉学科 助教 小川 千晴)



松田道雄著 『私は赤ちゃん』 岩波書店

この本は、今から50年以上も前に出版された本ですが、この本の中で、赤ちゃんの目を通して描かれている社会や家庭、子育ての状況は、現在に通じるものもあれば、昔の状況を教えてくれるものもあり、なかなか楽しい本です。子どもが好きな人、子どもと関わっている人など、ぜひ、手に取って読んでみてください。



(社会福祉学研究科(博士後期課程)院生 灰谷 和代)

# 新図書館の設備



本学図書館が新5号館の2階・3階へ移転して1年が経ちました。2階に新しく設置されたラーニングコモンズには、数名のグループで自主学習をする学生たちが集まり、熱心に勉強をしています。

本館の2階フロアは、ラーニングコモンズ・グループ学習室と専門雑誌(和雑誌・洋雑誌)、文献検索台が配置されています。3階フロアは、集中して学習できる「静かエリア」となっています。館内には、学生の皆さんの自主学習を支援する「図書館サポーター」がいて、図書の検索方法、資料作成のためのパソコンの操作などに関するアドバイスをしてくれます。図書館サポーターは、大学院生や上級生ですから、気軽に相談してください。

## <開館時間>

曜 日	通 常	長期休業期間中
月曜日～金曜日	8:30～21:00	8:30～17:30
土曜日	9:30～18:30	9:30～18:30

※日曜日及び国民の祝日、大学の定める休日は休館日です。

※学校行事・天候によって臨時に開館時間を変更、または休館する場合があります。

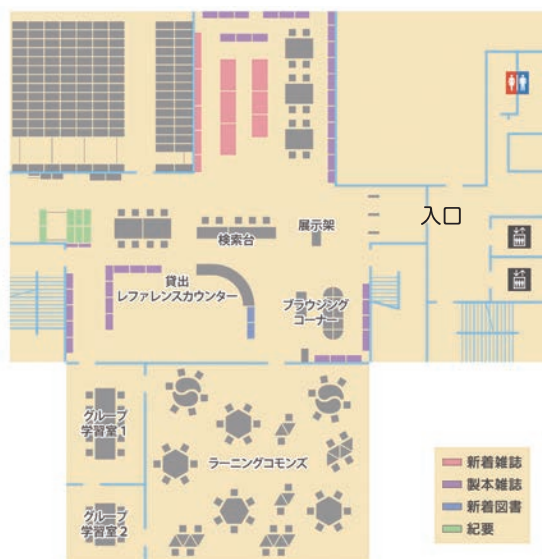
※開館日カレンダーや臨時の変更については、ホームページで確認してください。

## <閲覧席>

2階	閲覧席	20席
	ラーニングコモンズ	52席
	グループ学習室	16席
3階	閲覧席	106席
	キャレルデスク	50席

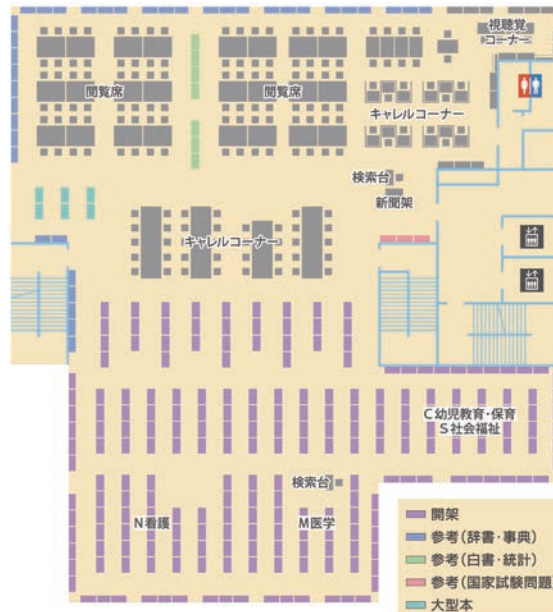
## <館内案内図>

2 階フロア



2 階フロアは、図書館の入口です。雑誌や検索台、ブラウジングコーナー、ラーニングコモンズ・グループ学習室、閲覧席、貸出・レファレンスカウンターがあります。ノートパソコンは2 階フロアで利用できます。

3 階フロア



3 階フロアは、「静かエリア」です。図書や視聴覚資料、閲覧席・キャレルデスクがあります。

## 2階フロア

### ＜検索台＞

検索用パソコンは5台あります。図書館ホームページから、「OPAC(本学所蔵の図書・雑誌検索)」や「聖隷クリストファー大学学術情報リポジトリ」※1、「電子ジャーナル(メディカルオンラインやOvid Nursing Full Text、Journal Web)」※2、「データベース(医中誌WebやCiNii)」※3等を利用できます。

※1「聖隷クリストファー大学学術情報リポジトリ」とは、本学教員の作成した研究・教育成果物等を保存し、無償で広く公開する聖隷クリストファー大学の機関リポジトリです。

※2「電子ジャーナル」とは、電子化された学術雑誌のことです。

※3「データベース(医中誌WebやCiNii)」とは、論文情報のインターネット検索システムです。

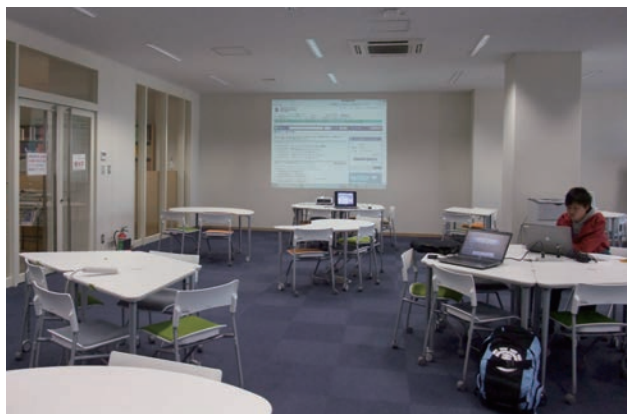


### ＜ラーニングコモンズ・グループ学習室＞



グループや個人の自主学習のためのスペースです。3階の静かな閲覧席とは異なり、声を出して活発にディスカッションやカンファレンスなどをしながら学習することができます。また、図書館の図書、雑誌、DVD、ノートパソコン等を持ち込み、ホワイトボード、大型テレビ、プロジェクター等の設備を活用して学習することができます。

機器は、「貸出・レファレンスカウンター」で貸し出しています。



プロジェクターを使用して、講習会やプレゼンテーションの練習ができます。



ホワイトボードを活用して議論をしながらの勉強会、個室が必要な場合は、グループ学習室を予約することができます。



## ＜新着図書フェア＞

新しく購入した図書は、まず ラーニングコモンズ内に展示して学生の皆さんに紹介します。フェア終了後は、「新着図書コーナー」へ移し、それから3階の書架に配架します。



## ＜ブラウジングコーナー＞

ソファでくつろぎながら、新聞や一般雑誌を閲覧することができます。2014年から新しい雑誌が2誌加まりました。



『日経パソコン』



『English Journal』



## 3階フロア

### ＜キャレルデスク＞

キャレルデスクとは、前や左右の視界を遮る仕切り板のある個人用閲覧席です。38席と12席の種類の異なるキャレルデスクがあります。

国家試験の勉強など集中して自己学習ができます。



図書館は公共の場です。マナーを守ってお互い気持ちよく利用しましょう。

図書館報 第12号/発行・聖隷クリスティー大学図書館/2014年4月1日  
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453/TEL:053-439-1416/FAX:053-414-1146  
E-mail: cl-library@seirei.ac.jp 図書館ホームページURL: <http://collib.seirei.ac.jp/>